

平成28年度 III 訪問看護能力強化コース

【目的】 受講生がニーズに応じて、訪問看護師に必要な知識・技術の向上をはかる。

【目標】 体験実習により、患者の生活をイメージする力を養成する。

1. 在宅療養者及び家族を全人的に捉え、専門的な知識と質の高い看護を提供できる。□
2. 在宅療養者が療養の場を移行する際に、医療と介護の連携、看護の継続性を重視した□
マネジメントができる。
3. より質の高い医療を推進するため、多職種と協働しチームの一員として役割を果たす□
ことができる。
4. 地域包括ケアシステムを効果的に活用した療養者支援の質向上のため、看看連携にお□
けるリーダーとして地域の人材育成の役割を果たすことができる。□

【研修科目】	在宅医療・看護についての講義および演習														
【ねらい】	訪問看護師に必要な知識・技術の向上をはかる。														
【内 容】	<p>受講者が獲得したい分野に関連する科目を中心に30講義以上を受講する。 (ただし、訪問看護に関する学会、研修会、学内カンファレンス等への参加についても、30講義に含めることができる。)</p> <p>I 在宅医療の社会システム 1. 地域包括ケアシステム</p> <p>II 在宅医療に必要な病態学 2. 在宅医療病態論</p> <p>III 訪問看護に必要な技能</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">3. 在宅における医療処置管理</td> <td style="width: 50%;">4. 在宅薬剤管理</td> </tr> <tr> <td>5. フィジカルアセスメント</td> <td>6. セルフケア支援</td> </tr> <tr> <td>7. 家族支援</td> <td>8. エンドオブライフケア</td> </tr> <tr> <td>9. 対人関係</td> <td>10. リーダーシップ</td> </tr> <tr> <td>11. 指導</td> <td>12. 看護倫理</td> </tr> </table> <p>IV 演習科目</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">13. 在宅看護学</td> <td style="width: 50%;">14. 在宅看護学演習</td> </tr> <tr> <td>15. 在宅看護学実習</td> <td></td> </tr> </table> <p>V 訪問看護に必要な知識の習得のための研修会や学術集会参加 16. 在宅支援室が推奨する研修会や学術集会</p>	3. 在宅における医療処置管理	4. 在宅薬剤管理	5. フィジカルアセスメント	6. セルフケア支援	7. 家族支援	8. エンドオブライフケア	9. 対人関係	10. リーダーシップ	11. 指導	12. 看護倫理	13. 在宅看護学	14. 在宅看護学演習	15. 在宅看護学実習	
3. 在宅における医療処置管理	4. 在宅薬剤管理														
5. フィジカルアセスメント	6. セルフケア支援														
7. 家族支援	8. エンドオブライフケア														
9. 対人関係	10. リーダーシップ														
11. 指導	12. 看護倫理														
13. 在宅看護学	14. 在宅看護学演習														
15. 在宅看護学実習															

【研修科目】	T-HOC ひのセミナー
【ねらい】	山間地の環境の中で、訪問看護実践者による講義受け、他施設の受講生と意見交換会をすることにより、訪問看護能力を高めるとともに、受講生相互の連帯感や信頼感を深める。
【内 容】	<p>*日時 平成29年9月（予定）</p> <p>*特別講義（講師：未定）</p> <p>*意見交換会 〈テーマ〉今の私にできる在宅看護</p>

【研修科目】	訪問看護ステーション実習
【ねらい】	他の訪問看護ステーション実習を行うことにより、自分の看護実践を振りかえり、現在の課題と向き合い、今後の活動に活かすことができる。
【内 容】	<p>*日時 平成28年7月～11月中（予定）</p> <p>*実習先(県下指定された)訪問看護ステーション</p>

【研修科目】	実習後カンファレンス
【ねらい】	それぞれの受講生が、各実習先ステーションで学んだことを共有し、今後の訪問看護の実践に生かす。
【内 容】	<p>*日時 全員の実習終了後別途指定する（平成28年12月予定）</p> <p>*グループ討議</p> <p>①実習で学んでこと ②今後の看護活動で生かせること</p> <p>（助言者）実習先の管理者1名</p> <p>実習カンファレンス後、訪問看護ステーション実習レポート（タイトル自由）提出すること。</p>